

臨時災害放送局の免許を輪島市に ～北陸初の開局「まちのラジオ」へ送信設備を無償貸与～



北陸総合通信局
片山 寅真 局長

総務省北陸総合通信局（局長 片山 寅真）は、令和7年7月7日（月）、輪島市（市長 坂口 茂）に対して臨時災害放送局の免許を行い、同日、臨時災害放送局のスタジオ前で開催された「まちのラジオ」開局式において、片山局長から坂口市長に無線局免許状を手交しました。

開局式において、坂口市長は「ラジオを通じ、地域の皆様が情報を共有することで、コミュニティの維持、活性化に大きな効果が期待できる」と語り、片山局長は「輪島市町野地区からの情報発信が能登復興の後押しになることを願う」と述べました。続いて、ラジオの運営を担う町野復興プロジェクト実行委員会の山下祐介委員長は「町野地域の皆でつくるラジオにしたい」と今後の抱負を語りました。開局式終了後、片山局長と輪島市長は被災地に設置されたプレハブのスタジオにおいて、開局記念番組の収録に臨みました。

臨時災害放送局は全国でこれまで55局が開局されており、「まちのラジオ」は全国で56番目、北陸3県では初めての開局となります。今回の開局にあたり、無線局の送信機やアンテナ機材は、北陸総合通信局が無償貸与しました。

北陸総合通信局は、臨時災害放送局の開局支援などを通じて災害情報の発信による安心・安全の確保を目指すとともに、能登地域の復興に向け、住民の皆様に寄り添った取組を進めていきます。



免許状交付の様子



スタジオを背に左から坂口市長、山下委員長、片山局長



番組収録を行う町野復興プロジェクト実行委員会の皆さん



輪島市 坂口 茂 市長



町野復興プロジェクト実行委員会
山下 祐介 委員長



北陸総合通信局が無償貸与
した無線局送信機

【臨時災害放送局】

暴風、豪雨、洪水、地震、大規模な火事等の災害が発生した場合に、その被害の軽減に役立つよう、被災地の地方公共団体等が臨時かつ一時の目的のために開設するFM 放送局

【お問合せ先】 情報通信部放送課 076-233-4490